

グローバル・カフェ「屋島お遍路体験ハイキングイベント」を開催しました

2025年11月21日（金）、「屋島お遍路体験ハイキングイベント」を「日本事情IIa」の授業とのジョイントイベントとして実施しました。これは屋島山頂にある屋島寺を目指して遍路を体験することと、屋島山頂からの瀬戸内海の自然、歴史、景観を学ぶことを目的としたものです。授業を履修する留学生6名とともに、主に屋島寮の寮生を含む留学生5名も参加しました。通訳案内士1名、引率1名を含め、総勢13名が参加しました。色づいた紅葉を楽しみながらの散策でしたが、穏やかで歩くのにもちょうどよい天気でした。

午後1時に琴電屋島駅を出発し、ケーブルカー駅跡、大宮八幡神社を経て昔からの遍路道に合流し、約90分かけて屋島寺まで登りました。道中では通訳案内士の細川治子さんによる英語の解説がありました。遍路道では弘法大師にまつわる史跡である「加持水（かじすい）」「不喰梨（くわづのなし）」、疊石などについて、説明がありました。屋島寺では、お遍路さんのお参りの手順、たぬきの伝説、七福神について、解説がありました。

屋島山上の名所である「獅子の巣巖展望台」から、土製の小皿状の「かわらけ投げ」を皆で体験しました。屋島山頂から高松市内や、瀬戸内海の景観を眺め、一帯が約90年前の1934年に瀬戸内海国立公園に指定されたことを学びました。別の展望台からは、11月に船で訪問した小豆島をはじめ、他の島々を見ることができました。穏やかな海と島々が連なる、典型的な瀬戸内海の景観を楽しみました。その後、屋島山上午後3時42分発のバスに乗って琴電屋島駅に戻り、午後4時過ぎに解散しました。

